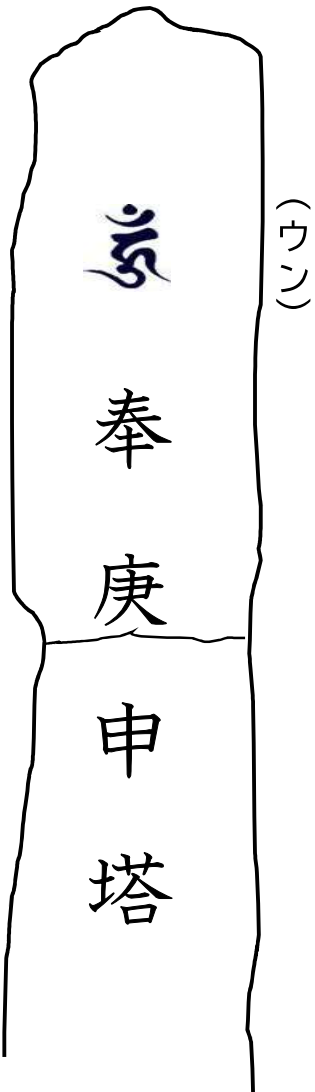


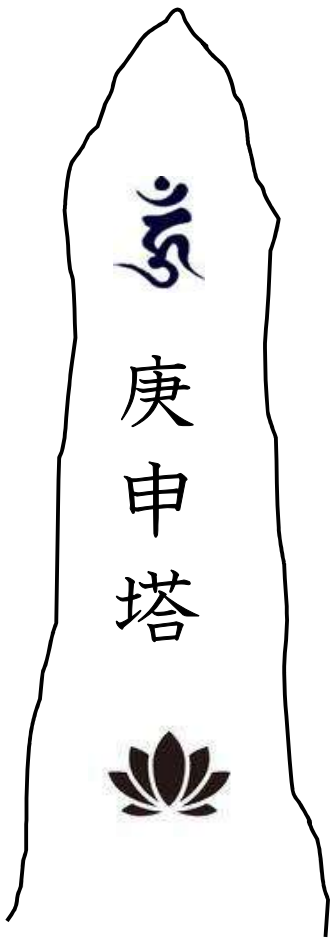
水上村の石塔

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.0
調査時点での写真等の掲載	材質	「水上村誌 歴史編 第4巻 地誌資料」 昭和四十五年五月三十一日発行 掲載箇所 の 抜粋	「水上村史」 昭和四十五年五月三十一日発行 掲載箇所 の 抜粋	彫刻等について記載 ※正確な表記ではない	所在地
	高さ				和暦
	幅				西暦
					時代

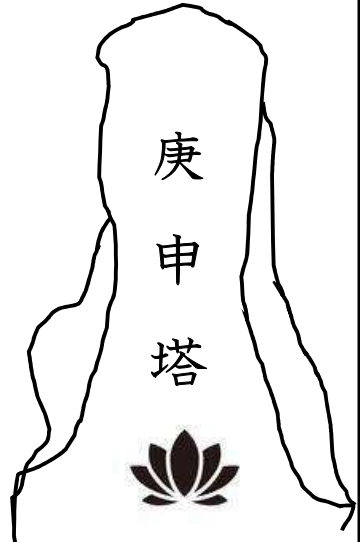
写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No. 1
	材質		水上村大字岩野覚井に、中央部分にヒビが入った庚申塔があります。正面に梵字の□(ウン)を彫り、「奉庚申塔」とあり、下部には「元禄十三年庚辰十一月二十七日立之、奉待当所結衆二十一敬白」とあります。石材は、加久藤溶結凝灰岩、高さ二五二センチ、幅余四四センチ。	岩野の覚井に、「奉庚申塔 元禄十三年庚辰十一月吉日 奉待当所結衆十一人敬白」と刻ったものが建っている。 (元禄十三年〓一七〇〇)		所在地
	加久藤溶結凝灰岩					岩野覚井一一〇一・一
	高さ					和暦
	252cm					元禄十三年
	幅					西暦
	44cm					一七〇〇年
						時代
						江戸時代

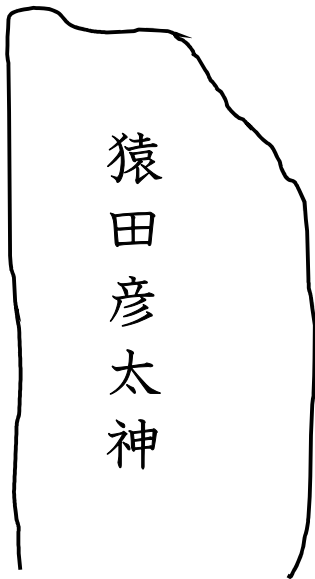
写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.2
  岩野・上楠の庚申塔	材質	「庚申年、五丁卯年、申塔、明和五子天、正面上部に梵字で□（ウー）を刻み、五判読できません。田代久助・他一名の銘前が、ほとん五センチ。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一五九センチ、幅四		岩野の上楠に、「庚申塔 明和五年一二月六日」（十八名程の人名が刻つてあるがほとんど判読出来ない）と刻つたものが建っている。	所在地
	加久藤溶結凝灰岩				（字石原 道一二三五 小松宅と東宅の間）
	高さ				和暦
	159cm				明和五年
	幅				西暦
	45cm				一七六八年
		時代			
		江戸時代			

岩野・上楠の庚申塔

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No. 3
	材質	「庚申塔」と刻まれています。正面上部に梵字□(ウーシ)を彫り、人、追刻で「文政三庚申十月吉日、大川内村中」と刻まれたものが建っています。石材は頁岩、高さは一三センチ、幅二八センチ。	岩野の大川内に、「庚申塔」と刻つたものが建っている。四人「文政三庚申十月吉日 大川内村中」		所在地
	頁岩				字小川内一四九〇一十一 (小川宅 炭焼き小屋付)
	高さ				和暦
	113cm				享保五年
	幅				西暦
	280cm				一七二〇年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.4
 岩野・川内・樺木の庚申塔 	材質	水上村大字岩野の樺木に、正面上部に梵字で□（ウーン）を刻み、「庚申塔」といいます。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一五センチ、幅五センチ。建つています。昭和十六年（一九四一）の『球磨郡誌』第五章第三節、老樹名木伝説本所のイチビ（水上村大字岩野川内、東氏宅内）の頁に、建設したる庚申塔あり、昔時此樹下に怪物の出るを、除くために文政七年三月の集會地なりしと云ふ。又北側に記されています。	岩野の樺木に、「庚申塔 文政七年三月吉日 八百エ門」と刻つたものが建つている。（文政七年〓一八二四）		所在地
	加久藤溶結凝灰岩				字樺木一六二九一
	高さ				和暦
	151cm				文政七年
	幅				西暦
	58cm				一八二四年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.5
	材質	水上村大字岩野小川内五本松に、「庚申塔、弘化三丙午歳、四月吉祥日」と刻んだものが建っています。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一四〇センチ、幅四五センチ。	※村史に掲載なし		所在地
	加久藤溶結凝灰岩				字松ノ平一六〇〇―四
	高さ				和暦
	140cm				弘化三年
	幅				西暦
	45cm				一八四六年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.6
	材質	水上村大字岩野下川内に、「猿田彦太神、明治二十六年癸巳年、正月吉日、建立者岡勝平、球磨郡人吉市五日出石工松崎勇吉、世話人櫟木弥五兵」と刻んだものが建っています。石材は、頁岩、高さ一七四センチ、幅七〇センチ。	※村史に掲載なし	 猿田彦太神	所在地
	頁岩				岩野毛田瀬一六四九一
	高さ				和暦
	174cm				明治二六年
	幅				西暦
	70cm				一八九三年
	時代	明治時代			

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No. 7
	材質	岩野の幸野に、正面上部に梵字で□(ウー)を刻み、「庚申塔、寛政三辛亥年二月吉祥日、高野村中」と刻んでいます。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一四二センチ、幅四一センチ。			所在地
	加久藤溶結凝灰岩				岩野上幸野五三
	高さ				和暦
	142cm				寛政三年
	幅				西暦
	41cm				一七九一年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.8
	材質	※村誌に掲載なし	岩野の幸野に「庚申塔」御成典記念 文一の樅木が建てられている。 刻つたものが建っている。		所在地
	不明				岩野上幸野五三
	高さ				和暦
	139cm				大正一三年
	幅				西暦
	79cm				一九二四年
					時代
					大正時代

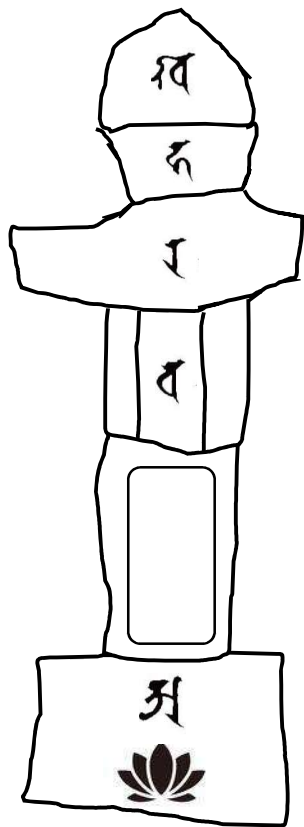
写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.9
	材質	水上村大字岩野の里坊に、正面上部に梵字で□(ウーシ)を刻み、「庚申塔、享保十乙巳年正月二十一日」と刻んだものが建っています。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ九九センチ、幅三八センチ。	岩野の里坊に、「庚申塔 享保十乙巳年正月廿一日」と刻ったものが建っている。		所在地
	加久藤溶結凝灰岩				字上里坊三五四九 (愛甲宅 前)
	高さ				和暦
	99cm				享保一〇年
	幅				西暦
	38cm				一七二五年
					時代
					江戸時代

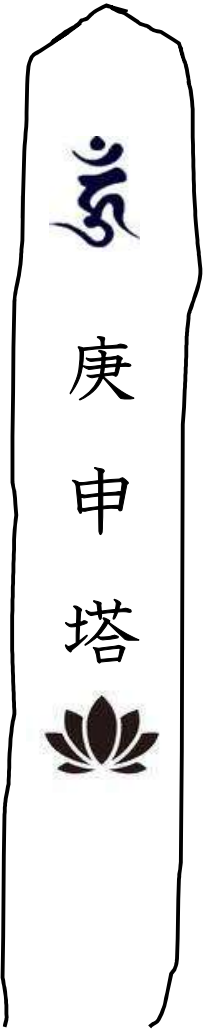
写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.10
	材質	水上村大字岩野の里坊に、正面上部に梵字で□（ウー）を刻み、「庚申塔、文化七庚午八月吉辰立之」と刻んでいます。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一一五センチ、幅五八センチ。			所在地
	加久藤溶結凝灰岩				字上里坊三五四九 (愛甲宅前)
	高さ				和暦
	115cm				文化七年
	幅				西暦
	58cm				一八一〇年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.11
	材質	水上村大字岩野の覚井から高瀬に延びた旧道沿いに、正面上部に梵字で「(ウーシ)」を刻み、「庚申塔、寛延元年戊辰十一月初十日、氏子中、左側に一奉開眼供養、慈眼院十世亮覚・」他三名の名前があり、高さ一六三センチ、幅六四センチ。寛延元戊辰天は一七四八年にあたります。			所在地 字高瀬道一三三 (高瀬公民分館裏)
	高さ				和暦 寛延元年
	163cm				西暦 一七四八年
	幅				時代 江戸時代
	64cm				

写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.12
	材質		水上村大字岩野の高瀬に、「庚申塔、弘化三丙午歳、四月吉日、三村」と刻んだものが建っています。高さ一三九センチ、幅四五センチ。	※村史に掲載なし		所在地
	水成岩					字高瀬道一四〇（高瀬交差点住宅村道入口）
	高さ					和暦
	139cm					弘化三年
	幅					西暦
	45cm					一八四六年
						時代
						江戸時代

写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.13
 岩野・宮田の庚申塔 	材質		水上村大字岩野の西之園に、正面上部に梵字で□(ウーン)を刻み、 「庚申塔、天明六丙午年十一月大吉辰、西之園若者中」と刻んだものが 建てられています。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一〇六センチ、幅四五セ ンチ。	岩野の西之園に、「庚申塔 天明六丙午年十一月大吉辰 西之園若者 中」と刻つたものが建っている。		所在地
	加久藤溶結凝灰岩					字小園三四二六一 (無人販売の裏)
	高さ					和暦
	106cm					天明六年
	幅					西暦
	45cm					一七八六年
						時代
						江戸時代

写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.14
 岩野・宮田の庚申塔（岩野・宮田） 五輪塔の黄色の庚申塔です。造立者の刻記はありませんが 深草寺にかかわるものと思われる。  正面右より撮影	材質	岩野の霧島神社の入口に、正面に地藏菩薩坐像を陽刻した変形五輪塔の 庚申塔があります。梵字は、上からキヤ・カ・ラ・バ・アで五輪塔と同 じで、右側面に「奉造立庚申供養、為現世安穩後生善所也」、左側面 「明暦三年三月丁酉吉日、施主敬白」という銘文があります。石材は加 久藤溶結凝灰岩、高さ一九三センチ。		岩野の霧島神社の入口に、地藏菩薩の座像を陽刻し、「奉造立庚申供養 為現世安穩後生善所也 明暦三年三月吉日 施主敬白」と刻ったものが 建っている。（明暦三年＝一六五七）	 地藏菩薩坐像を陽刻	所在地 字宮田二九九三一 交差点角
	加久藤溶結凝灰岩					和暦
	高さ					明暦三年
	193cm					西暦
	幅					一六五七年
	76cm					時代
	江戸時代					

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.15
	材質	水上村大字岩野の宮田に、正面上部に梵字の□（ウーン）を彫り、「庚申塔、享保三戌年十月吉日、願主那須清八・権八・貞八・源八・太八・市介・丑七・善右エ門」という銘文があります。石材は加久藤溶結凝灰岩、高さ一七五センチ、幅余三〇センチ。			所在地
	加久藤溶結凝灰岩				字宮田三〇〇〇一
	高さ				和暦
	175cm				享保三年
	幅				西暦
	約30cm				一七一八年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.16
	材質	水上村大字岩野の宮田、岩野霧島神社参道に、「庚申塔」と刻んだもの。西建つています。基壇正面に「大正十一年二月吉日建立」とあり、その下に「永野辰次・椎葉亀次・清治・田崎彦馬・城下市平」とあり、その下に「石材は砂岩、高さ一五二センチ、幅五〇センチ。」と記載なし。		※村史に記載なし 庚申塔	所在地
	砂岩				字上楠二五六一（恒松宅 角）
	高さ				和暦
	152cm				大正十一年
	幅				西暦
	50cm				一九二三年
					時代
					大正時代

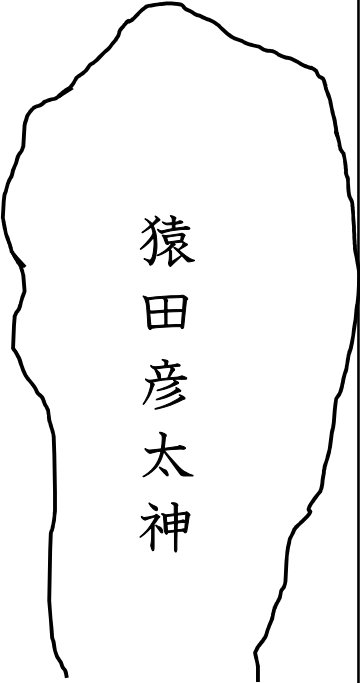
写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.17
	材質		水上村大字岩野の宮田、岩野霧島神社参道に、正面上部に梵字で□ (ア、主として大日如来)を刻み、「多寶如来塔」と刻み、右側に「現 當二世安樂衆□名中、安全五穀成就之増也」と刻んだものが建つていま す。江戸おそらく庚申塔の一種であるとい推測されます。また、右側の銘文か ち、江戸幅六二センチ。	※村史に掲載なし		所在地
	水成岩					岩野宮田三〇五七・二 (神社階段 下)
	高さ					和暦
	167cm					年代不詳
	幅					西暦
	62cm					時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.18
	材質	水上村大字湯山の北目に、正面上部に梵字で□（ウー）と刻み、「庚申塔、寶永二酉天、三月十四日」と刻まれましたのが建っています。高さ一センチ、幅三一センチ。	湯山の北目に、「庚申塔 寶永二酉天三月十四日」と刻ったものが建っている。（宝永二年Ⅱ一七〇五）		所在地
	変成岩				※現在不明
	高さ				和暦
	111cm				宝永二年
	幅				西暦
	31cm				一七〇五年
					時代
					江戸時代

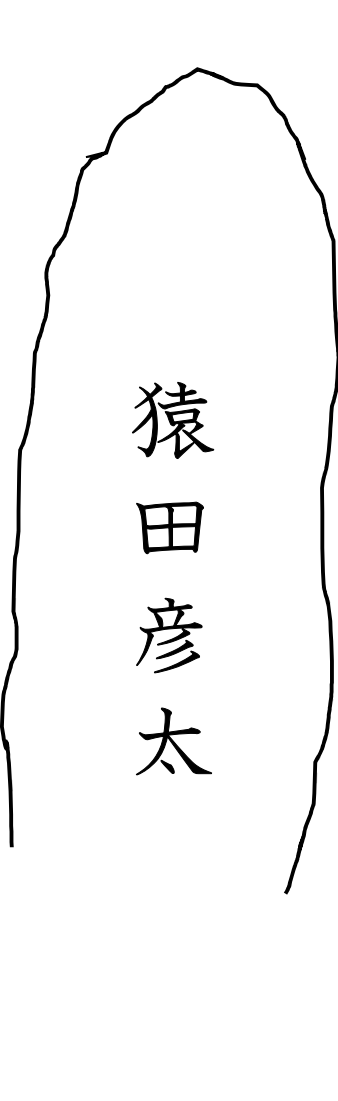
写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.19
	材質	水上村大字湯山字覚井に、「猿田彦太神、文政十二己丑年三月吉祥日」という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ一一四センチ、幅七〇センチ。	水上村湯山覚井に「猿田彦太神 文政十二己丑三月吉日」と刻ったのが建っている。（文政十二年＝一八二九）		所在地
	花崗閃緑岩				湯山馬場二七一、一 （ごしん入口）
	高さ				和暦
	114cm				文政十二年
	幅				西暦
	70cm				一八二九年
					時代
					江戸時代

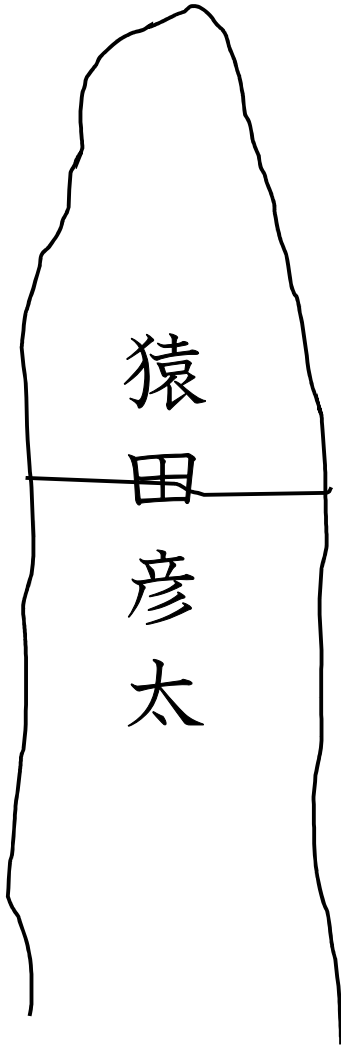
写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.20
	材質		水上村大字湯山字神揚に、正面上部に梵字で□(ウーン)と刻み、「大青面金剛塔、享保十一丙午天、三月吉祥日、若者中」と刻まれたものが建っています。石材は花崗閃緑岩、高さ一六〇センチ、幅六一センチ。	※村史に掲載なし		所在地 (地)
	花崗閃緑岩					字中覚井道一五八 (服部商店裏旧道墓)
	高さ					和暦
	160cm					享保一一年
	幅					西暦
	61cm					一七二六年
						時代
						江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.21
	材質	水上村大字湯山字上神揚に、正面上部に梵字で□（ウーン）と刻み、 材は庚申塔、宝暦五乙亥季二月吉祥日」と刻んだものが建っています。石 材は花崗閃緑岩、高さ二八四センチ、幅四二センチ。	湯山の上神揚に、「庚申塔 宝暦五乙亥年三月吉祥日」と刻ったものが 建っている。（宝暦五年＝一七五五）		所在地
	花崗閃緑岩				字上神揚一二五〇―一
	高さ				和暦
	284cm				宝暦五年
	幅				西暦
	42cm				一七五四年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.22
	材質	水上村大字湯山字神揚の一宮神社前の石碑に「猿田彦太神、寛政十二年申年三月吉日、明治四十三年旧正月十四日改、神揚村若者中」という銘文があります。	水上村湯山神揚の一宮神社前に「猿田彦太神 寛政十二年庚申年三月吉 祥日 明治四十三年旧正月十五日改 神揚村若者中」と刻ったのが建つ ている。(寛政十二年 一八〇〇)		所在地
	花崗岩				湯山下神揚一三七四
	高さ				和暦
	171cm				寛政十二年
	幅				西暦
	75cm				一八〇〇年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.24
	材質	水上村大字湯山字上神揚に、「猿田彦太神、文化十一年戊戌年九月吉祥日、湯山若者中」という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ一三五センチ、幅六二センチ。	水上村湯山字上神揚に「猿田彦太神 文化十一年戊戌年九月吉祥日 湯山若者中」と刻ったのが建っている。		所在地
	花崗閃緑岩				字上神揚一二五〇―一
	高さ				和暦
	135cm				文化十一年
	幅				西暦
	62cm				一八一四年
					時代
					江戸時代

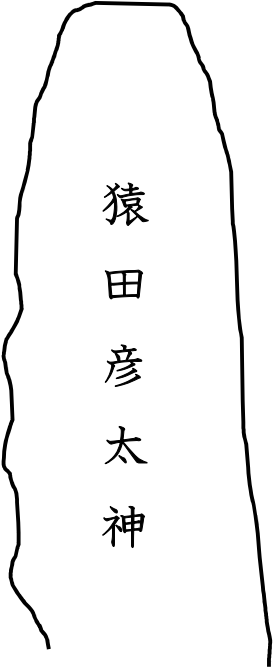
写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.25
	材質		○湯山村大字湯山字上神揚に、「猿田彦太神、天保九戊戌年三月吉祥日、高き一六 中」と刻つたのが建つてゐる。 (天保九年〓一八三八)	水上村湯山神揚に「猿田彦太神、天保九戊戌年三月吉祥日、湯山村若者		所在地 (字中覚井道一五八)
	花崗閃緑岩					地 (服部商店裏旧道墓)
	高さ					和暦
	160cm					天保9年
	幅					西暦
	54cm					一八三八年
						時代
						江戸時代

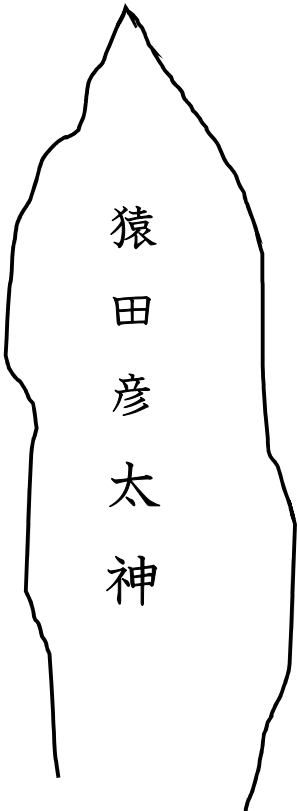
写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.26
	材質	水上村大字湯山字神揚に、二つに折れたものがあり、「猿田彦太神、嘉永五年三月吉祥日、若者中」という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ二一七センチ、幅六五センチ。	※村史に掲載なし		所在地
	花崗閃緑岩				字下覚井三六四一 (松岡鉄工所裏)
	高さ				和暦
	217cm				嘉永五年
	幅				西暦
	65cm				一八五二年
					時代
					江戸時代

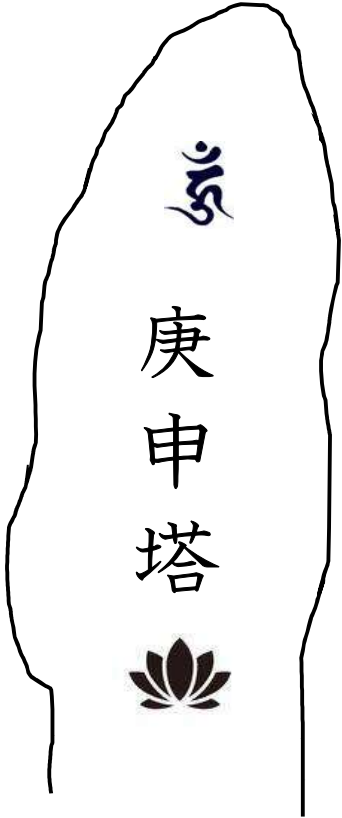
写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.27
	材質		水上村大字湯山字上神揚に、「猿田彦太神、明治十五年十二月四日、神上村若者中」と刻つたのが建っている。（明治十五年二月四日 神上村若者中）	水上村湯山中神揚に「猿田彦太神 明治十五年二月四日 神上村若者中」と刻つたのが建っている。（明治十五年二月四日 神上村若者中）		所在地
	花崗閃緑岩					湯山上神揚一二九二
	高さ					和暦
	172cm					明治一五年
	幅					西暦
	50cm					一八八二年
						時代
						明治時代

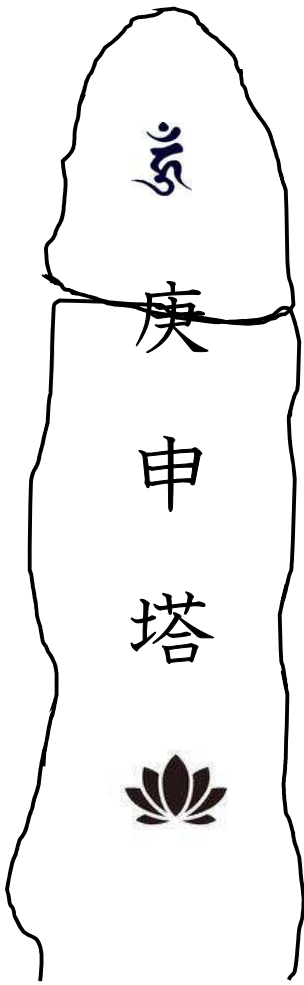
写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.28
	材質		水上村大字湯山字下神揚に、「猿田彦大神、明治二十七年甲午年旧二月十三日、湯山村覚井神揚若者中」と刻つたのが建っている。 三、湯山村覚井神揚、若者中という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ一九八センチ、幅五三センチ。本来は「猿田彦太神」なの	水上村湯山神揚に「猿田彦太神 明治廿七甲午年旧二月十三日 湯山村覚井神揚若者中」と刻つたのが建っている。		所在地
	花崗閃緑岩					湯山下神揚一四三七・二
	高さ					和暦
	198cm					明治二十七年
	幅					西暦
	53cm					一八九四年
						時代
						明治時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.29
	材質	水上村大字湯山字神揚、一宮神社参道に、正面上部に梵字で□（ウー ン）を陰刻し、青面金剛立像を陽刻しています。銘文は確認できませ ン。寶永寛政年間の間と推測されます。高さ一〇四センチ、幅三八セ ンチ。	※村史に記載なし		所在地
	高さ				字下神揚一四一―二 （一宮神社 参道）
	104cm				和暦
	幅				年代不詳
	38cm				西暦
					時代

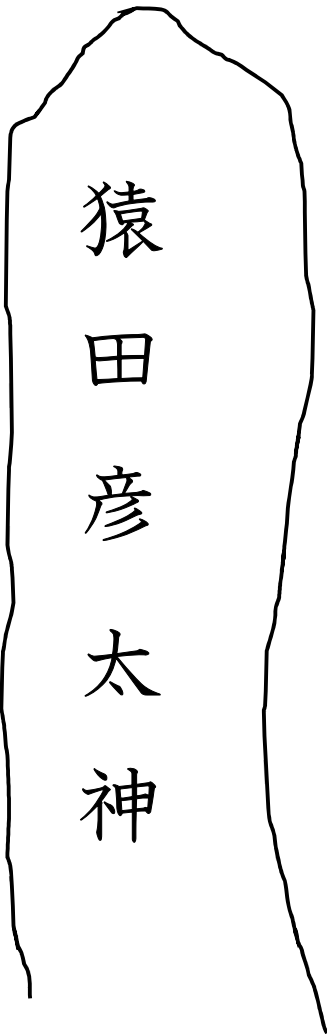
写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.30
 	材質	水上村大字湯山北目に、「猿田彦太神、明治二十五年辰年旧三月二日、北 目村」という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ一二二センチ、 幅三八センチ。石碑の前に、「明治三十五年四月二十九日立、荒嶽文次 郎・三まつ」と刻んだ石灯籠一基が建っていました。			所在地
	花崗閃緑岩				字下北目一六一六一二
	高さ				和暦
	122cm				明治二五年
	幅				西暦
	38cm				一八九二年
					時代
					明治時代
					

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.31
	材質	水上村大字湯山中北目に、「猿田彦太神、明治二十五年、旧三月二日、北目村」という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ一五六センチ、幅五三センチ。	水上村湯山北目に「猿田彦太神 明治廿五辰年旧三月二日 北目村」と刻ったのが建っている。		所在地
	花崗閃緑岩				字中北目一七〇〇一五 (北目公民分館 下)
	高さ				和暦
	156cm				明治二十五年
	幅				西暦
	53cm				一八九二年
					時代
					明治時代

写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.32
	材質		水上村大字湯山の馬場に、正面上部に梵字で□(ウーン)と刻み、「庚申塔、享保七壬寅天十月吉祥日、湯山村講中廿一人」と刻んだものが建っています。石材は花崗閃緑岩、高さ一四五センチ、幅四四センチ。	湯山の馬場に、「庚申塔 享保七壬寅天十月吉祥日 湯山村講中廿一人」と刻ったものが建っている。		所在地
	花崗閃緑岩					湯山馬場二七一、一 (ごしん入口)
	高さ					和暦
	145cm					享保七年
	幅					西暦
	44cm					一七二二年
						時代
						江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.33
	材質	水上村大字湯山の馬場に、正面上部に梵字で□（ウーン）と刻み、「庚申塔、元文四己未天三月十四日、構中、二十五人」と刻んだものが建っています。「構中」は、「講中」の誤りかも知れません。石材は花崗閃緑岩、高さ二四〇センチ、幅六六センチ。	湯山の馬場に「庚申塔 元文四己未天三月十四日 構中二十五人」（構中は講中の誤）と刻ったものが建っている。（元文四年＝一七三九）		所在地
	花崗閃緑岩				湯山馬場二〇八（馬場入口 左）
	高さ				和暦
	240cm				元文四年
	幅				西暦
	66cm				一七三九年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.34
	材質	水上村大字湯山の北目に、正面上部に梵字で□（ウーシ）と刻み、「大青面金剛、明和五子年二月吉祥日、講中」と刻んだものが建っている。石材は花崗閃緑岩、高さ一一四センチ、幅四〇センチ。	湯山の北目に、「大青面金剛塔 明和五子年二月吉祥日 講中」と刻まれたものが建っている。（明和五年 一七六八）		所在地
	花崗閃緑岩				※現在不明
	高さ				和暦
	114cm				明和五年
	幅				西暦
	40cm				一七六八年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.35
	材質		水上村大字湯山上馬場に、「猿田彦太神、明治十八年酉旧三月二十一日、馬場村、若者十七人」という銘文があります。石材は花崗閃緑岩、高さ一四一センチ、幅四三センチ。	水上村湯上馬場に「猿田彦太神 明治十八年酉旧三月廿一日 馬場若者十七人」と刻ったのが建っている。旧は、旧暦（つまり新暦に対する語で陰暦の意）		所在地
	花崗岩					湯山馬場二〇八 (馬場入口 右)
	高さ					和暦
	141cm					明治十八年
	幅					西暦
	43cm					一八八五年
						時代
						明治時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.36
	材質	水上村大字湯山の本野に、正面上部に梵字で□（ウー）と刻み、「庚申塔、天明五乙巳天五月吉日、湯山若者中」と刻んだものが建っています。石材は水成岩、高さ一一六センチ、幅四四センチ。	湯山の元野に、「庚申塔 天明五年五月吉日 湯山若者中」と刻ったものが建っている。（天明五年〓一七八五）		所在地
	水成岩				※現在不明
	高さ				和暦
	116cm				天明五年
	幅				西暦
	44cm				一七八五年
					時代
					江戸時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.37
	材質		湯山の馬場に、「青面金剛、享保廿年二月吉祥日」と刻ったものが建っている。		所在地
					※現在不明
	高さ				和暦
					享保二十年
	幅				西暦
					一七三五年
					時代
					江戸時代

水上村大字湯山の馬場に、「青面金剛、享保二十年二月吉祥日」と刻んだものが建つてい

湯山の馬場に、「青面金剛、享保廿年二月吉祥日」と刻ったものが建つてい

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.38
	材質				所在地
					※現在不明
	高さ				和暦
					天保五年
	幅				西暦
					一八三四年
					時代
					江戸時代

湯山の神揚に、「大青面金剛塔 天保五甲午年五月吉祥日」と刻つたものが建っている。（天保五年＝一八三四）

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.39
	材質	水上村大字湯山下北目の石碑に「猿田彦太神、明治二十年旧三月吉日、神揚」という銘文がありました。現在行方不明です。	水上村湯山下北目に「猿田彦太神 明治二十年旧三月吉日 神揚」と刻ったのが建っている。		所在地
	花崗閃緑岩				※現在不明
	高さ				和暦
	122cm				明治二〇年
	幅				西暦
	38cm				一八八七年
					時代
					明治時代

写真・図・規格 等			水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.40
	材質		水上村大字湯山字下覚井に、「猿田彦太神、 覚井若者中」という銘文があります。現在、 行方不明です。明治四十三年二月吉祥日、	水上村湯山下覚井に「猿田彦太神 明治四十三年二月吉祥日 覚井若者 中」と刻つたのが建っている。以上が今 のところ球磨地方に於ける猿田彦太神碑の主なものだが、そのすべてが 「大神」ではなく「太神」であるのも興味がある。		所在地
	高さ					湯山中覚井七七六 (なるお裏手)
	幅					和暦 明治四十三年
						西暦 一九一〇年
						時代 明治時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻（H25. 3. 31）	水上村史（S45. 5. 31）	碑 文	No.41
	材質	【新規確認】 湯山覚井 荒嶽林さん宅付近 ※碑文については、読み取りが困難			所在地
	不明				字中覚井七十八―二
	高さ				和暦
	204cm				不明
	幅				西暦
	81cm				不明
				時代	不明

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.42
	材質	古屋敷小学校脇に、 「庚申塔、大正十一年十一月 椎葉 実」と刻んだ ものがあります。	古屋敷の小学校脇に、 「庚申塔 大正十一年十一月 椎葉実」と刻った ものが建っている。		所在地
					※現在不明
	高さ				和暦
					大正十一年
	幅				西暦
					一九二三年
					時代
					大正時代

写真・図・規格 等		水上村誌第四巻 (H25. 3. 31)	水上村史 (S45. 5. 31)	碑 文	No.43
	材質				所在地
					※現在不明
	高さ				和暦
					明治三十五年
	幅				西暦
					一九〇二年
					時代
					明治時代

水上村湯山覚井に「猿田彦太神
 り、その前に「明治卅五年四月廿九日立
 石灯籠が建っている。
 荒嶽文次郎
 と刻ったのがあ
 まつ」と刻った

参考文献

「球磨の庚申信仰（二） 水上編」

昭和51年8月12日発行 熊本県立球磨工業高等学校 郷土研究部

「水上村史」

昭和45年5月31日発行 水上村教育委員会

「水上村誌 歴史編 第4巻 地誌資料」

平成25年3月31日発行 水上村教育委員会

「水上村歴史年表」

平成8年3月31日発行 水上村教育委員会

作成協力者

荒嶽林

坂口守雄

椎葉直徳

川原勝英

尾方立 （一宮神社 宮司）

溝下昌美 （湯前町文化財保護員）

令和4年3月 調査時点